

別紙

2024年度 輝くまちづくり交付金 実施報告書

1 事業内容

団体名	幼い子供たちのためのコンサート実行委員会
事業名	0歳からのファミリーコンサート～垣根を越えて～
課題テーマ	若い世代を社会全体で支える、安心して暮らせる都市、地域を担う人材育成
事業提案の背景	音楽に触れる体験については、幼児にとって情操のためにもたいへん大切であることが言われているが、一般的には未就学の子供たちは入場料金のかかるプロの演奏会には行くことができず、大人と同様に「鑑賞マナー」が要求される。また現在は共働き家庭が増えていて、日常的に多様な人とのつながりを持つことにも機会が限られている。また、障がい者も演奏会に行きたくても、声を出してしまうなどという理由から、なかなか気軽に参加できない。
事業目的	<p>2018年から取り組んできた研究課題、「保育者を目指す学生の大きな学びの機会」と、「これから育っていく幼い子どもたちの情操教育の場」「かけがえのない家族の時間」また、「年代を越え、障がい者など様々な人や団体との多様な交流」を通して、心豊かなこどもの育ちの場を広げ、家族の思い出を残し、繋げていくことができるようにという事を、目的とした。</p> <p>1 情操教育＝生の演奏に触れて、子どもたちの感動体験創出</p> <p>2 連携（子どもたち・子育てに関わる人やお年寄りまで、さらに障がい福祉団体との多様な交流）</p> <p>3 乳幼児が入場制限せずにコンサート参加可能として、子育て家庭と子どもたちが感動を共有し、思い出の時間を作ることができ、子育てで苦勞する若い人たちの癒しの時間となる多世代・障がいのあるひとなどとの交流から、多くの体験を得て子育てに希望や勇気を得ること。また手づくりで様々な子どもたちへの作品を提供する母親たちのグループとのつながりを持つことで子育てに夢を描くことが出来る流れの一つになるような内容。</p>

<p>事業内容</p>	<p>(1) 主事業 (情操教育=子どもたちの感動体験創出)  「0歳からのファミリーコンサート」  <b>会場</b> 釧路市生涯学習センター大ホール(資料別添)</p> <hr/> <p>*これまで、小規模施設 (EGG・釧路芸術館アートホールなど) で企画・実施した実績がある。1昨年・昨年に引き続き、一般規模施設 (より多くの市民の参加が可能な施設) においても子育て世代の人たちが多世代・親子で感動体験ができるということを実証していくもの</p> <p>(2) 関連 (連携) 事業 (子どもたち・子育てに関わる人や団体との多様な交流)</p> <p>通常のコンサートとは異なり、企画準備の段階から実施後まで、様々な団体・関係者との連携・コミュニケーションが求められる。これらのプロセスを重視し、事業そのものに幅を持たせていく。</p> <p>1) 就労支援の人たちによる販売活動を通じた交流</p> <p>※事業所を募り・販売内容などにも配慮した。</p> <p>多世代・障がいのあるひとなどとの交流から、多くの体験を得て子育てに希望や勇気を得ること。また手づくりで様々な子どもたちへの作品を提供する母親たちのグループとのつながりを持つことで子育てに夢を描くことが出来る流れの一つになるような内容。</p>
<p>事業展開</p>	<p>コンサートには、プロとして活躍している演奏家を始め、地元の子どもたち・釧路短期大学の音楽ゼミナールなどの学生たちが協力しながらステージを作り、今年はさらにプログラムを工夫し、絵本の選定と音楽を作曲して披露、また、普段はなかなか見る機会が限られている楽器のステージもあった。釧路短大で、子育て支援を学ぶ学生たちは、参加の子どもたちへ見守りや、サポートなどを担うことになり、幼い子供たちや、その保護者が、一つの企画の中で、良い音楽に触れる機会として、また多世代・障がいのあるひとなどとの交流から、多くの体験を得て子育てに希望や勇気を得ること、また手づくりで様々な子どもたちへ</p>

	<p>の作品を提供する母親たちのグループとのつながりを持つことで子育てに夢を描くことが出来る流れの一つになったことを実感できた。</p> <p>また昨年の反省をもとに、ひろばでのゆとりある時間や交流ができるようにした（コンサート時間を早めて、コンサート後にもゆっくり広場での時間を味わうことができた）</p>
成果目標の達成状況	<p>家族で楽しい充実した時間の共有と・本格的なコンサートに触れて、子どもたちの情操教育に役立つこと。また子どもの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目標として開催したが、<b>昨年位以上に予想以上に広がりのある市民の参加を得ることができた。</b></p> <p><b>・就労支援施設利用者・認知症を患うお年寄りを誘って参加して下さった方からの時間を楽しんで下さったという感想もあった。また、仕事を変更して家族できた親子や、毎年の行事としてきている家族が多数いた。</b></p>
波及効果の達成状況	<p>【終了後来場者からの聞き取りなど】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*多くの市民に支持されている。</li> <li>*クリスマスに染まって楽しんだ。</li> <li>*子供たち、親たちが子どもの傍でいい顔をして楽しんでいた。</li> <li>*コンサートを求める人たちが大勢いて釧路は良い街だと感じた。</li> <li>*広場の盛り上がりは昨年以上</li> <li>*従事した人たちのぬくもりを感じた。</li> <li>*「元気のない街」が力を引き出され可視化できた。</li> <li>*家族で楽しい充実した時間の共有と・本格的なコンサートに触れることができた。</li> <li>*親子で音楽を楽しむことで、子どもの情操教育ばかりか大人の癒しとなった</li> <li>*毎年楽しみにしている</li> <li>*駐車場が不足して、父親は送迎だけになった</li> <li>*広場の開催時間を見直して、コンサートの前、終わった後にもひろばの利用をゆっくり楽しむことができた</li> </ul>
実施体制	<p>釧路短期大学（緑ヶ岡学園）は釧路市と連携体制も整っており、短大に勤務する進藤が、ネットワークを作って、様々な団体と協力体制を作る。（実行委員会 代表 進藤信子）</p>

連携した市担当課	有（こども保健部 こども育成課 ・東部子育て支援センター・障がい福祉課）
連携した市担当課が果たした役割（※有の場合）	<p>「豊かな感性を育てること」と音楽との結びつきは不可欠である。</p> <p>釧路市が、「子ども・子育て支援新制度」の実施において、保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進し、全ての子どもの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援することを目的としていることに基づき、子育て家庭と関わりの深い子育て支援拠点センターを介して周知拡大していただくことができ、さまざまな協力団体との連携を図ることに大きな力を得ることができた。</p> <p>さらに今年は、幼稚園・保育園・小中高校にチラシを配布し、活動の周知に工夫したり SNS を利用した広報の拡大も工夫し、当日親子で来る人が昨年以上多かった。</p>

## 2 支出決算書と支出内訳

### (収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	200,000	
広告協賛	100,000	優心病院 (3万) ・シロアム (2万) ・吉田新聞 店・中沢医院・イオンマイホームセンター (1万) エルム楽器・リライアブル・三ツ星レストラン・ おひさまクリニック (5000)
入場料 (プレイガイド・当日)	175,700	プレイガイド 49,200 ・当日 86,500 チケット協力 40,000
自己資金	66,134	
合 計	541,834	

### (支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
印刷製本費	99,370	コンサートチケット・チラシプ ログラム
使用料・賃借料	149,964	学ぼっと大ホール (音響込み)
謝礼	50,000	出演者
消耗品費	26,296	文具・当日土産
旅費	90,000	従事者の旅費
役務費	34,358	郵便物・切手代・広告料・著作権
小 計	449,988	
対象外経費		
人件費	21,846	実行委員会臨時スタッフ・食事 券
謝礼	20,000	
製作費	50,000	絵本の曲
小 計	91,846	
合 計	541,834	